ポータブルパワーソース

取扱説明書（保証書付）

PS-18000

株式会社 日立オートパーツ＆サービス

このたびは、ポータブルパワーソースPS-18000をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読みいただいたうえでご使用ください。

もくじ

安全上のご注意……1〜5
使用上のご注意……6
構成部品一覧表……7
本体・付属品各部の名称と働き……8〜10
仕様……11
使用方法
1. ジャンプスタート……12〜13
2. バックアップ電源……14〜15
3. 直流機器のサブ電源……15
4. USB出力による充電……16
5. LEDライト……16
保守管理
1. 本体の充電……17
2. 保管方法……17
故障かな?という場合に……18
保証規定……19
保証書……20
お問い合わせ先……21

安全上のご注意（必ずお守りください。）

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。
	この絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。
	この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 警告

小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する
事故やけが、感電の原因となります。

使用後は必ず、ケーブルを抜いて保管する
事故やけが、感電の原因となります。

付属のケースに入れて保管する
事故やけが、感電の原因となります。

本体から電解液が漏出している場合や異臭がする時には直ちに火気より遠ざけて使用を中止する
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

本体から電解液が漏出している場合は、直接触れない
万一皮膚に付着または目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の診察を受ける
失明や皮膚に障害を起こす原因となります。

エンジン始動後やエンジン始動に失敗した場合は、すみやかにジャンプスターターケーブルを取り外す
事故やけが、感電の原因となります。

USB出力による充電終了後、本体と被充電機器との接続をすみやかに解除する
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

ACプラグやUSBコネクターは根元まで確実に差し込む
ホコリによる火災や感電の原因になります。

本体を充電する際は、当社指定条件の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守る
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

本体の充電完了後は、すみやかに充電器を外す
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

本体の充電は温度が0～40℃の環境で行う
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

本体の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は充電を中止する
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。

本製品に異常を感じたら、直ちに使用を中止する
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

万が一、本製品が発火した場合は消火器を使って消火する
発火時に水をかけると感電の原因となります。

手やケーブルなどがぬれた状態で本製品を使用しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 警告

風呂場やプール、海など水没の危険がある場所では使用しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。

ガソリン・オイルなど可燃物の周辺や法令で第一類・第二類危険箇所に指定されている場所では使用しない
火災や引火・爆発する原因となります。

可燃物や重いものを乗せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない
発熱、発火、破裂、液もれの原因になります。

本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器などに使用しない
事故、火災、ケガの原因となります。

本製品を接続した状態で車を走行させない
事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。

暗い場所で作業を行わない
事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。

ぬらしたりしない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

故障のまま使用しない
スイッチが操作できないなどの故障の状態で使用しないでください。
すぐに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用すると本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

端子類を指で触れたり異物を入れない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

直射日光があたる場所や、夏季の車両内など気温45℃を超える環境および湿度70%を超える環境で保管しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

分解や改造はしない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

ケーブルの被覆が破れた状態で使用しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

加熱したり、火や水の中に入れない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

ストーブなど熱源に近づけない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

付属品のコード類を束ねたまま使用しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 警告

付属品以外のケーブル・アダプターを使用しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

本製品付属品を本製品以外に使用しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

本体・付属ケーブル・付属充電器を落下させたり、衝撃を与えない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

使用時および充電時に、たばこなどの火気を近づけない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

使用時および充電時、付近に可燃物を置かない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

可燃性の気体や液体のある場所で使用しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

端子の両極性を金属で接続しない
また、ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

本製品の出力端子同士や本製品の出力端子と他製品の出力端子を接続しない
感電、火災、発熱、発火、破裂、ケガの原因となります。

電子レンジや高圧容器に入れない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

ペットなどの動物に本製品を触れさせない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

ジャンプスターターケーブルの赤と黒のクリップを同一端子への接続、
逆接続および車両との接触をさせない
けがや事故、火災、車両故障および本体故障の原因となります。

本製品を接続した状態で、3秒以上クランキングを行わない
一度この条件でエンジン始動に失敗した場合は、使用を中止してください。
エンジン始動に必要な電流が製品の放電能力を超過していますので、そのまま
クランキング動作を行うと、発火、破裂、漏液の原因になります。

車両に対して本製品を単体で接続した状態でエンジンを始動しない
本製品は車両バッテリーの応急補助製品であり、車両バッテリーの代わりとしては
使用できません。

ジャンプスタート以外でジャンプスターターケーブルを本体に接続しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 警告

24V車のジャンプスタートを行わない
本製品は12V車専用です。
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

極度に劣化または深放電しているバッテリーのジャンプスタートをしない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

満充電の状態で充電をしない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

AC充電器は指定された電源電圧以外の電圧で使用しない
AC充電器の指定電源電圧は交流100～240Vです。直流電源には接続しないでください。
感電、火災、発熱、発火、破裂、ケガの原因となります。

充電器を屋外で使用しない
感電、火災、ケガの原因となります。

LEDライトを人の目に向けて照射しない
失明の原因になります。

12V車両以外でシガー充電器による充電を行わない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

本体の充電をしながら本製品を使用しない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

本製品を取扱説明書記載の使用方法以外の使用をしない
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。

本体や付属ケーブルがエンジンなどに巻き込まれないように注意する
本体・車両故障、けがの原因になります。

使用上のご注意

●本製品は防水されていませんので水に濡らさないでください。
●アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。変色やひび割れの原因となります。
●高い電磁環境に近づけないでください。本体の損傷や動作不良の原因になります。
●長期間使用しない場合は、3ヶ月ごとに充電を行ってください。
●ジャンプスタート時以外はダストカバーを閉じてください。
●ジャンプスターターケーブルの接続は、クリップ（赤）、クリップ（黒）の順番で接続してください。解除はクリップ（黒）、クリップ（赤）の順番で行ってください。
●ジャンプスタートに失敗した場合は、ジャンプスタートを中止してください。本製品の出力電流仕様を超えているか、バッテリー上がり以外の原因が考えられます。そのままジャンプスタートを行った場合、本体故障の原因になります。
●連続してジャンプスタートを行う場合は、10分以上間隔をあけてください。
●本体の出力と入力を接続しないでください。発熱、液もれ、故障の原因となります。
●本体内蔵バッテリーは使用方法や保存方法によっては、著しく劣化する場合があります。内蔵バッテリーの劣化による不具合は、保障の対象外となります。
●対応車であっても、車両の状態、車両の仕様、環境によってはジャンプスタートできない場合があります。

取り扱いについて

●衝撃を与えないでください。
本製品を落下、たたくなどして衝撃を与えると故障の原因となります。
●ケーブルを無理に引っ張らないでください。
ジャンプスターターケーブルなどのケーブル類を外す際など、ケーブルを無理に引っ張ると断線など故障の原因となります。

保管場所について

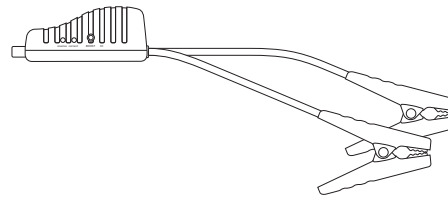
●下記の場所には保管しないでください。
・ホコリの多い場所
・水のかかるところ
・強い衝撃が加わるところ
・気温-10℃以下45℃以上、湿度70%以上のところ
・結露のあるところ
・直射日光のあたるところ

構成部品一覧表（ご使用前にご確認ください。）

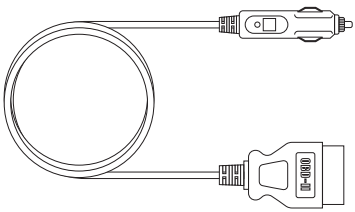
本製品には、下記のものが同梱されています。ご使用の前にご確認ください。
万一、不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

①パワーソース本体…1台

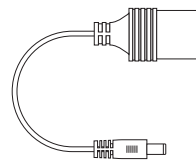
②ジャンプスターターケーブル…1本



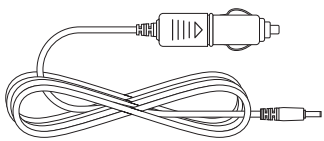
③OBDⅡケーブル…1本



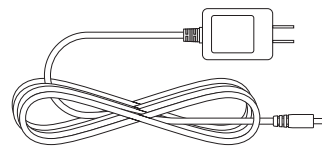
④シガーソケット…1本



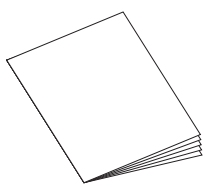
⑤シガー充電器…1本



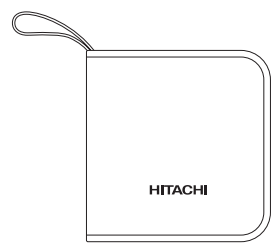
⑥AC充電器…1本



⑦取扱説明書（保証書付）…1冊



⑧キャリングケース…1個



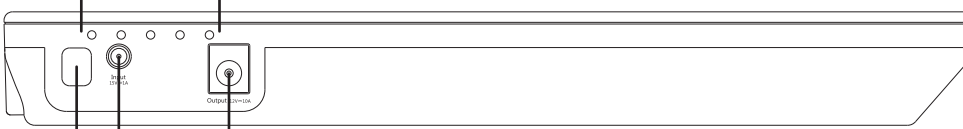
本体・付属品各部の名称と働き

本体下側面

● **残量インジケーター**

5個のLEDの点灯状態で、本体内蔵バッテリーの残量を表示します。

● ● ● ● ●	全点灯（100%～81%）
○ ● ● ● ●	4つ点灯（80%～61%）
○ ○ ● ● ●	3つ点灯（60%～41%）
○ ○ ○ ● ●	2つ点灯（40%～21%）
○ ○ ○ ○ ●	1つ点灯（20%～11%）
○ ○ ○ ○ ●	1つ点滅（10%～1%）
○ ○ ○ ○ ○	全消灯（0%）



● **DC12V出力端子（DC2.1タイプ）**

この端子とDLC（車両側コネクター）を付属のOBD Ⅱ ケーブルとシガーソケットで接続することで、車両メモリーのバックアップ電源や直流機器のサブ電源として動作します。

● **充電器接続端子（DC15V入力）**

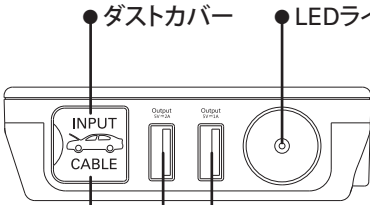
この端子と車両の12Vシガーソケットを付属のシガー充電器で接続、または家庭用コンセントをAC充電器で接続することで、本体内蔵バッテリーの充電を行います。

● **電源キー（兼LEDライトスイッチ）**

このキーを押すと残量インジケーターが点灯します。
このキーを長押しするとLEDライトが点灯します。

本体・付属品各部の名称と働き

■本体左側面

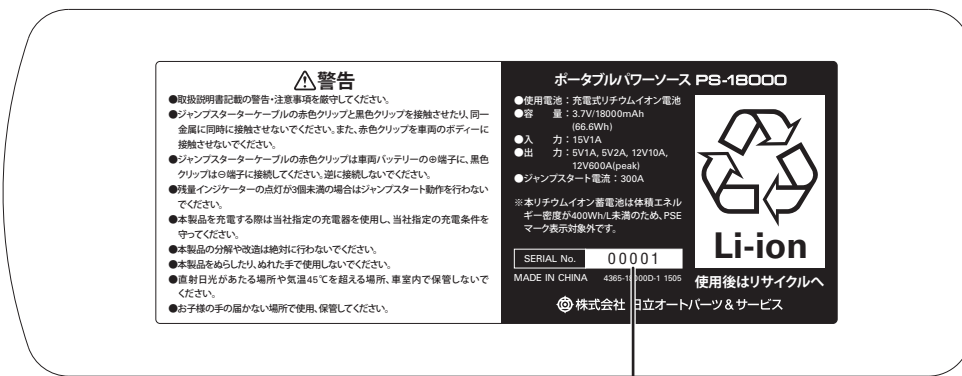


● USB出力端子（DC5V）（1A）
スマートフォンなどの被充電機器付属のUSB Aオスプラグを差し込んで充電を行う1A仕様の出力端子。

● USB出力端子（DC5V）（2A）
スマートフォンなどの被充電機器付属のUSB Aオスプラグを差し込んで充電を行う2A仕様の出力端子。

● ジャンプスタート出力端子（ダストカバー内）
ジャンプスターターケーブルのプラグを差し込んで車両のジャンプスタートを行います。

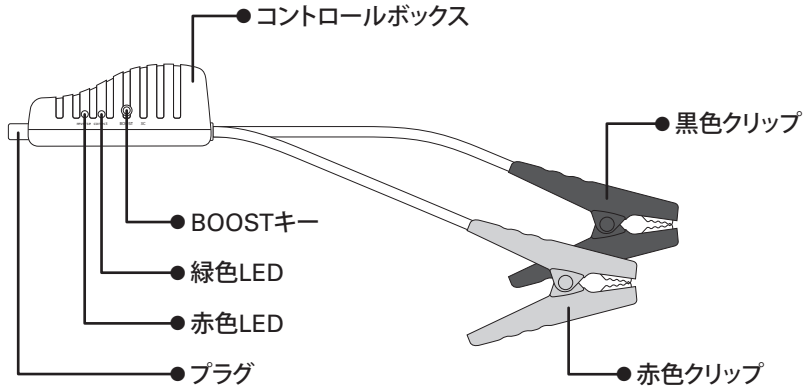
■本体背面



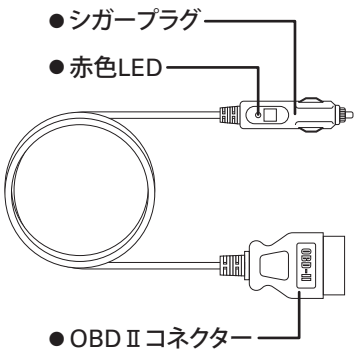
● シリアルナンバー

本体・付属品各部の名称と働き

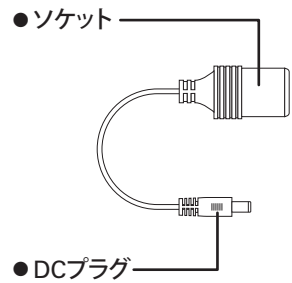
■ジャンプスターターケーブル



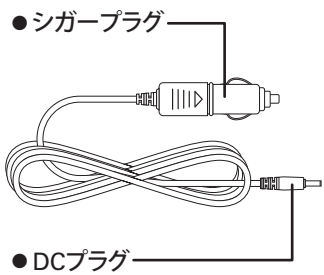
■OBDⅡケーブル



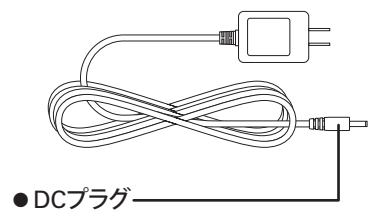
■シガーソケット



■シガー充電器



■AC充電器



仕様

1. バッテリータイプ	充電式リチウムイオンバッテリー
2. バッテリー容量	18000mAh（3.7V）
3. 出力	DC5V/1A（USB出力端子 1A）、DC5V/2A（USB出力端子 2A）、 DC12V/10A（DC12V出力端子）、 DC12V/600A（peak）（ジャンプスタート出力端子）
4. 入力	DC15V/1A（DC15V入力端子）
5. ジャンプスタート電流	300A
6. ジャンプスタート対応車（目安）	排気量4000cc以下の12Vガソリン車、 排気量3000cc以下の12Vディーゼル車
7. コネクター形状	USB出力端子 1A／USB出力端子 2A：USBタイプA メス、 DC12V出力端子：DC2.1メス、 ジャンプスタート出力端子：独自コネクター
8. 本体充電方法	専用充電器（シガー充電器／AC充電器）
9. 本体充電時間	約8時間
10. 残量インジケーター	5個のLEDにて本体内蔵バッテリー残量を7段階表示
11. LEDライト機能	高輝度LEDによる、3モード（点灯／点滅／SOS信号）の切り替えが可能
12. 保護回路	ジャンプスターターケーブル：短絡、過電流、逆電流、逆接続、低電圧 USB端子、12V出力端子：過電流、過放電
13. サイクル寿命	約1000回 ※使用方法や保存環境によって大きく変化します。充放電サイクル回数を保障するものではありません。
14. 使用温度	環境温度：－10～55℃、本体温度：0～45℃
15. 充電時温度	0～40℃
16. 保存温湿度	－10～45℃ 70%rh以下（ただし結露のないこと）
17. 寸法	230mm（H）×87mm（W）×27mm（D）
18. 質量	約670g
19. 付属品	ジャンプスターターケーブル、OBDⅡケーブル、シガーソケット、 シガー充電器、AC充電器、キャリングケース、取扱説明書

使用方法

1. ジャンプスタート

⚠ 警告/注意

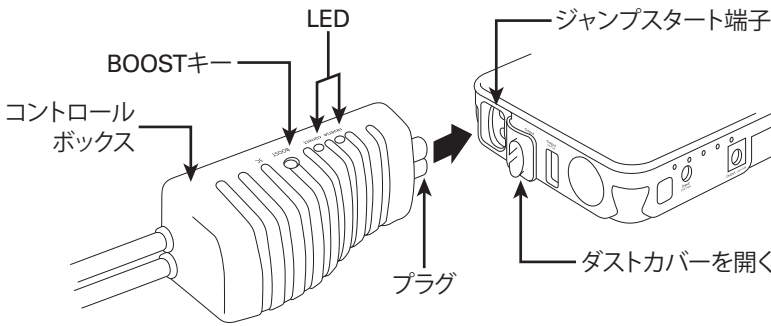
P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

①電源キーを押して、残量インジケーターが3個以上（バッテリー残量41％以上）であることを確認します。

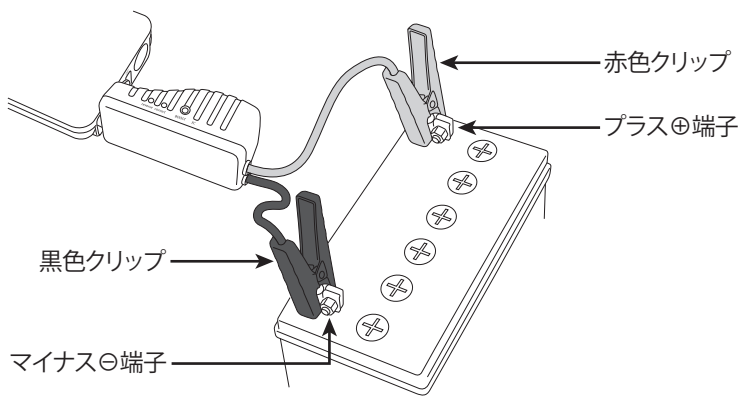
②本体のダストカバーを開いて、ジャンプスターターケーブルのプラグを本体左側面のジャンプスタート端子に接続します。

コントロールボックスのLEDが消灯していることを確認します。

※BOOSTキーは強制的にクリップ部分と本体を導通させます。コントロールボックスの状態検知機能を無効化するため、短絡や逆接続時に大電流が発生し大変危険です。④で指示がある場合以外では、絶対に押さないでください。



③ジャンプスターターケーブルのクリップを車両のバッテリー端子に接続します。初めに赤色クリップを車両バッテリーのプラス⊕端子に、その後黒色クリップをマイナス⊖端子に接続します。



使用方法

④コントロールボックスの状態により、下記の操作に従ってください。

- 緑色LED点灯：接続が正しくされています。エンジン始動をしてください。
  ※エンジン始動時は、本体の負荷を抑えるために車両のヘッドライトやエアコンなどの電装品をOFFにしてください。
  ※車両バッテリー電圧が12.6V以上の場合は、エンジン始動ができない場合があります。その場合は、BOOSTキーを押して、30秒以内にエンジンを始動してください。
  ※対応車両であってもバッテリー状態や環境により正常にジャンプスタートできない場合があります。
- 赤色LED点灯＆ブザー音：接続が間違っています。③からやり直してください。
- 緑色LED点滅＆ブザー音 ： 車両バッテリー電圧が低いです。BOOSTキーを押して、緑色LEDが点灯したことを確認後、30秒以内にエンジンを始動してください。
- 全LED消灯＆ブザー音無：車両バッテリーが劣化し、電圧がほとんどない可能性があります。ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。接続が正しい場合は、BOOSTキーを押して、緑色LEDが点灯したことを確認後、30秒以内にエンジンを始動してください。
- 緑色LED点滅＆ブザー音無：過熱などの異常検出による保護が働いています。時間を置いて再度接続し直してください。

⑤ジャンプスターターケーブルのプラグを本体から外します。

⑥車両バッテリーの端子から黒色クリップを外し、その後に赤色クリップを外します。

※ジャンプスタート動作を行うと、一時的な電圧降下による過放電保護の作動が発生し、本体の電源が入らなくなることがあります。その場合は、一度充電動作を行うことにより、過放電保護が解除されます。

ジャンプスタート時のアドバイス
気温の低い所で本製品を保管すると、本体の温度が低下してジャンプスタートの性能も低下します。使用する直前まで室温での保管を推奨いたします。

■コントロールボックス動作一覧

	正常	異常な状態				
検知	車両バッテリー電圧が8V～12.6V	プラスマイナス逆接続	電圧検知不可	車両バッテリーが完全放電の状態（5V以下）	車両バッテリー電圧が低い（5V～8V）	車両バッテリー電圧が高い（12.6V以上）
警告	LED：緑 点灯	LED：赤 点灯	LED：消灯	LED：消灯	LED：緑 点滅	LED：緑 点灯
	リレー作動音	ブザー音	ブザー音なし	ブザー音なし	ブザー音	リレー作動音なし
作動	作動可能	作動不可	接続状態と車両バッテリー電圧を確認	接続確認後、BOOSTキーONで作動可能	BOOSTキーを押してLED緑が点灯後に作動可能	BOOSTキーを押してLED緑が点灯後に作動可能

■コントロールボックス

※逆接続を検知するためには2.5Ｖ以上の電圧が必要です。
※BOOSTキーは誤って押されないよう、凹構造になっています。

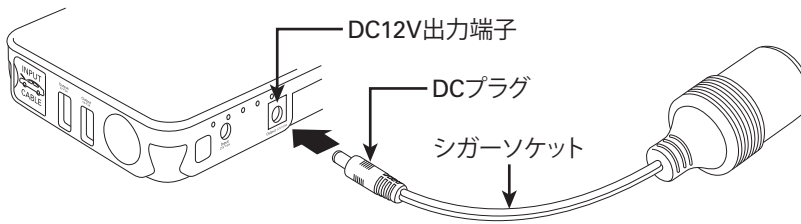
使用方法

2. バックアップ電源

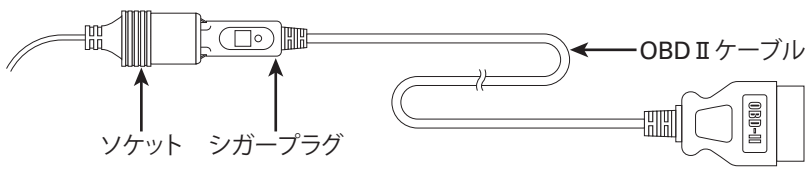
⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

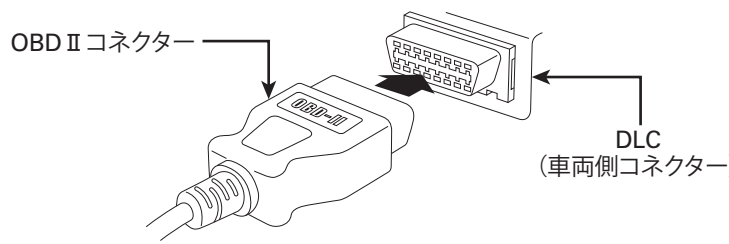
①車両のキーを抜き、5分以上放置します。
②車両のライト類（室内灯含む）を全てOFFにします。
③電源キーを押して残量インジケーターが点灯することを確認します。
④シガーソケットのDCプラグを本体のDC12V出力端子に差し込みます。



⑤シガーソケットのソケットにOBDⅡケーブルのシガープラグを差し込みます。
※接続部が抜けないように安定した所に置いてください。



⑥OBDⅡケーブルの赤色LEDが点灯したことを確認します。赤色LEDが消灯した状態ではバックアップ電源として機能しません。
※赤色LEDが点灯しない場合は、シガーソケットとOBDⅡケーブルの接続および本体バッテリーの残量を確認してください。問題が無い場合はシガープラグ内部のヒューズが切れている可能性があります。
⑦OBDⅡケーブルのOBDⅡコネクターを車両のDLC（車両側コネクター）にしっかりと差し込みます。



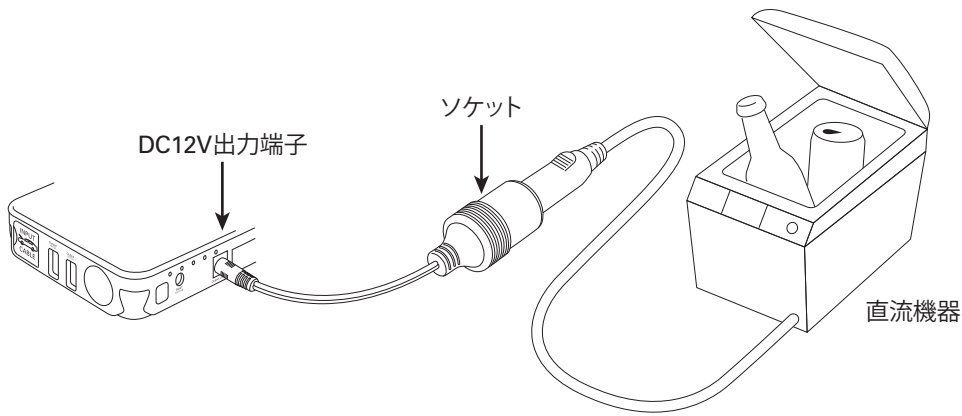
⑧バッテリー交換などの作業を行います。終了しましたら本体と車両の接続を解除してください。
※バックアップ中にブレーキを踏んだり、ライトや室内灯を点灯したり、キーを回したりしないでください。OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
※車両バッテリーが過放電している場合、OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
※一部の車両ではバックアップ動作を行うと過電流によりブレーカーが作動し、車両メモリーが消去する場合があります。整備要領書などでご確認ください。
※本体と車両を接続したままエンジンを始動しないでください。
※車両によってはDLC（車両側コネクター）から電源を供給できず、バックアップ動作を行うことができない場合があります。

3. 直流機器のサブ電源

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

①電源キーを押して残量インジケーターが点灯することを確認します。
②直流機器とシガーソケットを接続します。
※接続部が抜けないように安定した所に置いてください。
③シガーソケットのDCプラグを本体のDC12V出力端子に差し込むとサブ電源として機能します。



④使用後は本体と直流機器の接続を解除してください。
※定格を超えた機器に接続した場合や出力を短絡した場合は、本体の過電流保護が働き使用できなくなります。その場合は一度充電を行うことで復帰します。
※本体電池残量が0%の状態で使用し続けた場合は、本体の過放電保護が働き使用できなくなります。その場合は一度充電を行うことで復帰します。

使用方法

4. USB出力による充電

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

①被充電機器付属または市販の充電ケーブルを本体のUSB出力端子（1Aまたは2A）に差し込み、本体と被充電機器を接続します。
※被充電機器によっては、USB出力端子（2A）を使用することで充電速度が速まる場合があります。
※2つのUSB出力端子を使用することで、被充電機器2台を同時に充電することができます。
②電源キーを押すと残量インジケーターが点灯し、充電が開始します。
③充電終了後、本体と被充電機器の接続を解除してください。

電源キーを押しても充電が開始されない場合
電源キーを押しても充電が開始されない場合は、端子部分に接触不良が無いか確認してください。また、接続する出力端子を変更してみてください。
※端子部分に接触不良が無い場合は、出力電流が仕様を超えている可能性があります。また、20秒ほどで残量インジケーターが消灯する場合は、何らかの理由で電流が流れないか、電流が100mA以下の可能性があります。

※完全に電池を消費し、電源が入らなくなった状態の機器には使用できない場合があります。
※使用する機器によっては充電できない場合があります。
※使用する機器によっては満充電にならない場合があります。
※被充電機器の画面にエラーが表示された場合は、ただちに使用を中止してください。

5. LEDライト

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

①電源キーを長押しすると、LEDライトが点灯します。
②さらに電源キーを押すごとに、下記の順で発光モードが変化します。

■発光モード

点灯 → 点滅 → SOS → 消灯

保守管理

1. 本体の充電

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

■家庭用コンセントによる充電

①付属のAC充電器のDCプラグを本体の充電器接続端子に差し込みます。
②AC充電器を家庭用コンセントに差し込みます。
※必ずAC充電器と本体を接続した後コンセントに差し込んでください。
③本体の充電が開始され、残量インジケーターが点滅します。
④充電が終了すると残量インジケーターが消灯します。
⑤充電終了後は、本体と家庭用コンセントの接続を解除してください。

■車両のシガーソケットによる充電（12V車両専用）

①車両のエンジンが始動していることを確認します。エンジン停止状態での充電はバッテリー上がりの原因になります。
②付属のシガー充電器のDCプラグを本体の充電器接続端子に差し込みます。
③12V車両のシガーソケットにシガー充電器のシガープラグを差し込みます。
④本体の充電が開始され、残量インジケーターが点滅します。
⑤充電が終了すると残量インジケーターが消灯します。
⑥充電終了後は、本体と車両の接続を解除してください。

2. 保管方法

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

本体バッテリーを長持ちさせる長期保管の方法

- 放電状態での長期保管はバッテリーの劣化に繋がるため、3ヶ月に1回程度の充電を推奨します。
- 長期保管時の充電は充電完了まで充電せず、残量インジケーターが3～4つ点灯の状態を保つと、本体バッテリーの劣化を最小限に抑えることができます。
- 直射日光を避け、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。

故障かな?という場合に

故障かな?という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。
本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店または(株)日立オートパーツ＆サービスにお問い合わせください。

症　状	原因と処置
電源が入らない	●本体の充電量が低下している。または過放電保護が働いている。 → 本体の充電を行ってください。(P17 参照)
LEDライトが点灯しない	●本体の充電量が低下している。または過放電保護が働いている。 → 本体の充電を行ってください。(P17 参照) ●電源キーを長押ししていない。 → 電源キーを長押ししてください。
ジャンプスタートができない	●エアコンやヘッドライトなどの負荷がかかっている。 → ジャンプスタート時は本体の負荷を抑えるために、エアコンやヘッドライトなどの電装品をOFFにしてください。 ●車両バッテリー電圧が12.6V以上になっている。 → BOOSTキーを押して30秒以内にエンジンを始動してください。 ●車両バッテリーが極度に劣化している。 → 車両バッテリーが極度に劣化している場合は、ジャンプスターターケーブルコントロールボックスの緑色LEDが点灯せず、ジャンプスタートはできません。 ●本製品の対応車ではない。 → 本製品の対応車は排気量4000cc以下の12Vガソリン車および、排気量3000cc以下の12Vディーゼル車となります。 ●始動に必要な電流が本製品の仕様を超過している → 対応車両であり接続方法が正しくても、車両の状態や仕様、環境によっては放電能力が足りずにジャンプスタートできない場合があります。
USB出力による充電が開始されない	●本体と被充電器の接続がしっかりと行われていない。 → 端子とコネクターの接続を確認してください。(P16 参照) ●電源キーを押していない。 → 充電開始時は電源キーを押してください。

保証規定

保 証 規 定

1. 取扱説明書などの注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障箇所の修理をさせていただきますので、お買い上げの販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責任を負わないものとします。
3. 不当な改造については弊社は一切の責任を負わないものとします。
4. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包のうえ、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段(簡易書留や宅配など)をご利用ください。
5. 次のような場合には、保証期間内でも保証の対象となりません。
   （1）本保証書のご提示がない場合。
   （2）本保証書にシリアルNo、お買い上げ日、販売店名、販売店印などの記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
   （3）お客様による輸送、移動時の落下、衝撃など、お客様の取り扱いが適切でないために生じた故障および損害。
   （4）お客様による使用上の誤り、各構成部品の紛失、あるいは修理による故障および損害。
   （5）火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損害。
   （6）本製品に接続している弊社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損害。
   （7）離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
6. ケーブル類の破損、内部バッテリーの劣化は保証の対象外となります。
7. ご不明の点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
8. 本保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
9. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)